

令和 5 年度（令和 5 年 1 2 月末時点）

日吉津村地方創生総合戦略

進捗状況報告書

< 内 容 >

1. 総合戦略の進捗状況の概要について

- 基本目標と重要業績評価指標（KPI）の状況
 - ・基本目標 1
住んでみたい、住み続けたいむらづくり
 - ・基本目標 2
結婚・出産・子育てしやすいむらづくり
 - ・基本目標 3
働き続けられるむらづくり
 - ・基本目標 4
魅力あふれるむらづくり

戦略の骨格

～日吉津村の地方創生～

◎ 2060 年(R42)に 3,600 人の人口を目指します。

◎ 4 つの項目によりこの戦略を推進します。

- ①住んでみたい、住み続けたいむらづくり（住むなら日吉津！）
- ②結婚・出産・子育てしやすいむらづくり（子育てなら日吉津！）
- ③働き続けられるむらづくり（仕事づくり！）
- ④魅力あふれるむらづくり（元気なむらづくり！）

日吉津村

日吉津村総合政策課

（令和 6 年 2 月報告）

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり					評価	R4達成
目標	日吉津村の暮らしやすさ、立地条件の良さ、自然環境の住みやすさを広く発信し、移住定住の促進を図ります。						
◆数値目標 (KGI)							
指標項目	人口の社会動態						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	R1	—	—	—	—	75人	R3からR7の累計
実績値	66人	20人	40人	12月末 データなし	—	—	
達成度 (単年達成度)		26.7% (133.3%)	80.0% (266.7%)		—	—	単年目標値 (15人)
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)							
※令和4年度評価の内容							
<p>【人口の社会動態】</p> <p>平成27年と令和2年の国勢調査を比べると、鳥取県では唯一日吉津村のみ人口が増加しており、1.8%の増加率でした。令和4年12月末時点の日吉津村の総人口は3,599人で、令和4年1月から12月の社会増減数は40人（転入：186人 転出：146人）でした。</p> <p>基本目標1の目標値は、人口の社会動態が令和3年から令和7年までの5年間の累計が75人以上になることであるため、2年目である本年度は15人（75人/5年＝15人）以上の社会動態の増加があれば達成しているといえます。令和4年の人口の社会動態は40人の増加であるため、目標数値（KGI）は「達成」と評価することができます。</p> <p>また、日吉津村における人口1,000人あたりの転入者数は11.33人であり、鳥取県で1番高い数値となっています。日吉津村への移住者の前住所地をみると、以前から米子市などの鳥取県西部、または安来市など島根県東部からの転入が多く、地方への移住が注目されるなか、日吉津村としても首都圏からの移住者の確保についての施策を講じる必要があります。</p>							

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり			
施策 1-1	移住・定住支援			

1. 総合戦略基本事項



施策目標	移住定住総合相談窓口の拡充を行い移住希望者の支援を行うとともに、空き家情報の情報発信や住宅に関する各種補助制度を活用することで、移住者が日吉津村で安心して定住できる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	移住定住支援事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	移住定住総合相談窓口を設置し、結婚から就労、定住まで、IJUターン希望者を総合的に支援します。						
	【事業名】	移住定住支援金			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	東京23区から日吉津村に移住し、鳥取県が指定する事業所に就職した方へ交付金を支給することで移住しやすい環境を整えます。						
事業内容 (P)	【事業名】	結婚・子育て世帯等応援補助金			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	村内に新規で専用户建住宅を取得し、継続して村にお住いの40歳未満の世帯へ補助金を支給し定住を図ります。						
事業内容 (P)	【事業名】	空き家の解消と住宅建築可能土地の確保			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	空き家や宅地情報について村のホームページに掲載するとともに、所有者へ早期にアプローチをして土地や住宅の利活用を推進します。						
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転入者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	100人	R3からR7の平均
	実績値	100人	101人	105人	12月末 データなし	—	—	
	達成度 (単年達成度)		101.0% (101.0%)	103% (105.0%)		—	—	単年目標値 (100人)
評価指標 (KPI)	指標項目	20～30代の転出者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	90人	R3からR7の平均
	実績値	94人	85人	79人	12月末 データなし	—	—	
	達成度 (単年達成度)		105.6% (105.6%)	108.9% (112.2%)		—	—	単年目標値 (90人)
評価指標 (KPI)	指標項目	専用住宅新築棟数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	50棟	R3からR7の累計
	実績値	17棟	18棟	25棟	19棟	—	—	
	達成度 (単年達成度)		36.0% (180.0%)	86.0% (250.0%)	—	—	—	単年目標値 (10棟)

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内企業のPR動画を作成予定 ・東京23区移住者支援金 0件 (東京23区から村に移住し、指定事業所等に就職した方へ支援金支給) ・結婚・子育て世帯等応援補助金 0件※ (40歳未満の世帯が、村内で新築または中古住宅を取得した場合に補助) ・結婚・子育て世帯等定住促進補助金 0件※ (申請対象は2件) (応援補助金の受給世帯が、村居住後5年以上経過及び住宅取得後3年以上経過した場合に補助) ※申請期間：令和6年1月以降のため、令和5年12月時点での受付実績なし。 ・空き家解消 0棟 (空き家33棟) 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚・子育て世帯等応援補助金の問合せが例年に比べて多く、子育て世代の移住のきっかけとなり注目されている。 ・空き家所有者から売買の相談を受け、宅建業協会を經由して、不動産事業者と連携しHPへの物件掲載につながった。(1件)
	<p>課題 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅取得希望者からの問合せはあるが、村内の物件が限られている。 ・前年度から空き家が3棟増加し、村内の空き家は33棟となった。 ・空き家を手放さない所有者が多く、処分する意向につなげることが必要。
<p>委員会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・進学で一度県外に出ると、県内の就職情報を集めるのが難しいです。 ・日吉津村から県外に出た大学生に、役場から県内就職先の情報について連絡があると戻ってきやすいです。 	
<p>意見への回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・就職情報の提供については、日吉津村公式のSNS等を利用し、県外に出た大学生に情報発信できるよう検討します。 ・「とりふる」という鳥取県のアプリの周知、活用も含めて、積極的に広報していきます。 	

3. 継続・改善点等

<p>R6年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・二十歳を祝う会において就職情報提供の希望者を把握し、ピンポイントでの情報提供を実施する。 ・引き続き、移住者及び子育て世代への支援や情報収集を実施予定。 ・空き家利活用の推進するために、空き家所有者へアンケート調査等を実施予定。
-------------------------	---

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり		
施策 1-2	シティプロモーションの推進		

1. 総合戦略基本事項





施策目標	日吉津村の魅力をも効果的に発信し「ひえづのファン」を増やすことで交流人口を増やし、「まち」と「人」が魅力を高めあう好循環が生まれる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	地域魅力発信事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	各種媒体（総合パンフレット、SNS等）を活用して、日吉津村の魅力を村内外に発信します。						
	【事業名】	ホームページ運営事業			【担当課】	総合政策課		
【事業概要】	村のお知らせや各種施策についてわかりやすく伝えるよう、村のホームページを運営しています。							
評価指標 (KPI)	指標項目	SNS投稿数（インスタグラム）						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	400件	R3からR7の累計
	実績値	10件	4件	175件	195件	—	—	
	達成度 (単年達成度)		1.0% (5.0%)	44.8% (218.8%)	—	—	—	単年目標値（80件）

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合パンフレット作成の検討 ・ショッピングセンターでのPRブースにてパンフレット配架 ・SNS活性化のため職員に共有 ・ショッピングモールとの意見交換を実施。 							
評価 (C)	成果 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・12月末までのSNS投稿数は単年度目標値の約2.5倍に増加。 ・ショッピングモールと連携し、継続的にパンフレットや広報誌の配架を実施。月末には配架物の在庫が全くない状況が継続中。（手に取ってくださる方が増加） 						
	課題 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS投稿は図書館、ヴィレステ、教育委員会が多く、広報担当もマスコットや風景の写真以外に定期的に各課の情報を入力し情報発信しているが、村の情報を幅広く提供するためには、各課においても主体的にSNS投稿ができる職員の育成が必要。 ・インスタに加えて、高齢者等の利用が多いLINEでの情報発信も増やすこと。 						
委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・役場からの発信が堅苦しいと思います。 ・日吉津村をどう宣伝するかが大事だと思います。 ・自然をPRするには周りの自治体も巻き込んでいく必要があります。 ・SNSの発信が増えたことへの反響はどうか、検証してより良い発信をするべきです。 ・高齢者がSNSから情報を得るのは、個人差があり難しいと思います。 							
意見への回答	<ul style="list-style-type: none"> ・村キャラクターのマスコットなどを用いて、親しみのある投稿も心がけます。 ・SNSでの発信が増え、投稿コメント等で受け手側の反応もわかるようになりました。一番反響が大きい投稿は村内の自然や行事に関する写真でした。村からの必要な情報に加えて、風景写真等も取り込みながら村のPR効果を高めていきます。 ・現在メインで日吉津の情報を発信しているSNSがインスタグラムですが、LINEであれば年配の方でも利用される方が増えているようですので、活用していきたいと考えています。 							

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・ショッピングモール等の民間事業者にも協力いただき、日吉津村の魅力発信や、子育て支援など連携した村づくりの取組を行う。 ・SNSを発信ツールに活用し、特にLINEを活用した情報発信を推進する。 ・SNSによる情報発信を利用する担当課が増えるよう、使い方の研修等も併せて実施する。
-----------------	---

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり		
施策 1-3	地域とつながるにぎわいの創出		

1. 総合戦略基本事項


施策目標	観光誘客を促進するため海浜エリア活性化など、地域資源の活用を推進するとともに、ふるさと納税を活用し交流人口の増加をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	大山山麓・日野川流域観光推進協議会広域連携事業			【担当課】	総合政策課			
	【事業概要】	つながるマルシェの開催や観光雑誌への広告の掲載など広域で取り組んでいます。							
	【事業名】	海浜エリアの活性化			【担当課】	総合政策課			
	【事業概要】	海浜運動公園をはじめ、海浜エリアの活性化に向け検討委員会等を開催し、魅力のある海浜エリアによる交流人口の増加をめざします。							
	【事業名】	海浜運動公園管理事業			【担当課】	総務課			
【事業概要】	海浜運動公園を快適に利用できるように、有料施設の運営・管理を行っています。								
【事業名】	ふるさと納税推進事業			【担当課】	総合政策課				
【事業概要】	魅力のある返礼品を開発し、ポータルサイトやアンテナショップなどでPRし、ふるさと納税の推進を図っています。寄附金は、環境保全や教育の振興等趣旨に沿った事業へ活用しています。								
【事業名】	企業版ふるさと納税推進事業			【担当課】	総合政策課				
【事業概要】	税の優遇措置を活用して都市からの資金の流れをつくるとともに、日吉津村を応援する企業が増え交流人口の増加につなげます。								
評価指標 (KPI)	指標項目	観光入込客数（米子・皆生温泉周辺エリア）							
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	1,000千人	R3からR7の平均	
	実績値	1,024千人	689千人	929千人	12月末 データなし	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)	—	68.9% (68.9%)	92.9% (92.9%)		—	—	—	単年目標値（1,000千人）
評価指標 (KPI)	指標項目	海浜運動公園利用者数							
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	14,000人	R3からR7の平均	
	実績値	13,583人	7,785人	10,029人	12,195人	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)	—	55.6% (55.6%)	63.6% (71.6%)	—	—	—	—	単年目標値（14,000人）
評価指標 (KPI)	指標項目	ふるさと納税寄附額							
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	100,000千円	毎年	
	実績値	198,930千円	92,945千円	63,233千円	63,264千円	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)	—	92.9% (92.9%)	63.2% (63.2%)	—	—	—	—	単年目標値（100,000千円）
評価指標 (KPI)	指標項目	企業版ふるさと納税寄附額							
		基	R2	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	10,000千円	R2からR6の累計 (※税額控除の適用期限が R6までのためR2～R6)	
	実績値	—	1,500千円	4,000千円	9,400千円	4,000千円	—		
	達成度	—	15%	55.0%	149.0%	—	—		
達成度 (単年達成度)	—	75%	(200.0%)	(470.0%)	—	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	単年目標値（2,000千円）		

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場利用者 6,221人、多目的広場利用者 950人、芝生広場利用者 5,024人、テニスコート利用者 0人(利用停止中)、ゲートボール場利用者 0人(計:12,195人) ・ふるさと納税についてホームページ、鳥取県民コーナーや他県の県事務所やアンテナショップにおいてPR ・ふるさと納税寄附件数 1,786件 ・企業版ふるさと納税寄附企業数 R2(2社)、R3(3社)、R4(11社)、R5(8社) 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜運動公園の利用者がコロナ以前の水準に戻ってきている。今年度は商工会と連携したサイクルカーニバルを同公園でも実施し、併設されたマルシェ会場では、村内外から多くの来場者があった。 ・ふるさと納税の新規返礼品数を増やし、新しいポータルサイトを追加したことで魅力発信の強化を行った。 ・企業版ふるさと納税に御協力いただいた企業に対して、感謝の意を表するとともに、企業の社会貢献を広く周知、官民連携を推進するため感謝状の贈呈式を実施した。また委託事業者と連携し県外からの寄付社数が増えた。
	<p>課題 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・テニスコート、ゲートボール場の利活用のため、サウンディング調査等を着実に実施しながら、利用者のニーズに応じた用途の把握や再整備の実施が急務である。官民連携による海浜公園の魅力化に向けた取組が必要。 ・ふるさと納税の引き続き魅力的な返礼品の開発や広報が必要。
<p>委員会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税について、最近は「もの消費」より「こと消費」が増えてきていて、体験型ができればいいと思います。 ・いちご狩り、工場見学、自転車のレンタルなどして、村をゆっくり満喫してもらいたいです。 ・旧うなばら荘を積極的に、利活用を進めてください。 ・テニスコートの利用者0は、しっかり管理して使える状況であれば0と記載すべきだと思います。 ・テニスコートをキャンプ場にしたら需要があると思います。 	
<p>意見への 回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の体験型の返礼品として「いちご狩り」を企画しています。また、キャンプ場等を活用した返礼品の企画を検討していきます。 ・観光施策を今後検討するとともに、海浜エリアにある低利用施設の活用案を引き続き検討します。 ・現在利用ができないテニスコートや、利用者が無いゲートボール場の再整備に向けて、現在企業へのサウンディング調査を進めているところでございます。 ・旧うなばら荘の利活用につきましては、現在、様々な機関を通じて活用いただける新たな企業を探しているところでございます。 	

3. 継続・改善点等

<p>R6年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税の村内返礼品事業者と連携し、日吉津産の返礼品を増やし魅力発信を強化します。 ・企業版ふるさと納税の寄附を活用し、村事業の充実・強化により、村の活性化につなげます。 ・海浜エリア活性化計画に基づき、計画実施に向けた協議を継続します。 ・民間事業者との連携による海浜エリアの魅力向上を検討していきます。 ・海浜運動公園については、テニスコート、ゲートボール場の利活用に係る再整備を進めてまいります。
-------------------------	--

基本目標 1	住んでみたい、住み続けたいむらづくり			
施策 1-4	未来技術の活用			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	デジタル技術を活用してあらゆる世代に使いやすい行政サービスを提供し、ニューノーマル（新しい生活様式）に対応した村をめざします。							
事業内容 (P)	【事業名】 情報システム等整備事業 【担当課】 総合政策課							
	【事業概要】 自治体DXの推進を図り、行政手続きのオンライン化などデジタル技術を活用し、行政サービスの向上を推進します。							
評価指標 (KPI)	指標項目	住民向けAIチャットボット質問数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	500件	R3からR7の累計
	実績値	—	—	249	153	—	—	
	達成度 (単年達成度)		—	49.8% (249.0%)		—	—	単年目標値 (100件)
評価指標 (KPI)	指標項目	オープンデータ公開件数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	10件	R3からR7の累計
	実績値	0件	0件	0件	0件	—	—	
	達成度 (単年達成度)		0.0% (0.0%)	0.0% (0.0%)	—	—	—	単年目標値 (2件)
評価指標 (KPI)	指標項目	電子申請手続き様式数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	20様式	R3からR7の累計
	実績値	—	5様式	23様式	0様式	—	—	
	達成度 (単年達成度)		25.0% (125.0%)	140.0% (575.0%)	—	—	—	単年目標値 (4様式)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・住民向け行政サービス（コンビニ交付）の提供 ・AI・RPA製品の情報収集や研究 ・ショートメッセージサービスの活用 ・マイナポータルで行政手続きのオンライン化	
評価 (C)	成果 (12月時点)	・役場へ来庁不要で様々な手続きが可能となり、住民の利便性向上につながった。
	課題 (12月時点)	・既存のデジタル技術について、利用状況等の精査が必要。 ・小規模な自治体では、DXを円滑に推進する体制が十分に確保できない現状があり、DX推進体制を構築するには、県や他の自治体との連携も必要。
委員会意見	・DXを活用し、事業をリンクして何か継続できるものをしてみたいと思います。導入する場合は、費用対効果を検証してやるべきです。	
意見への回答	・業務を行う際に時間や手間がかかることについてDXを活用し、費用対効果等も検証します。	

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	・既存のデジタル技術について、利用状況等の精査を実施予定。
--------------	-------------------------------

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり					評価	R4おおむね達成
目標	未婚・晩婚化の進行に歯止めをかけ、充実した子育て環境を提供することで、安心して子育てができる村をめざします。						
◆数値目標 (KGI)							
指標項目	婚姻届出数						
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	備考
目標値	H30	—	—	—	—	100組	R1からR5の累計
実績値	17組	17組	14組	17組	12月末 データなし	—	単年目標値 (20組)
達成度 (単年達成度)		17.0% (85.0%)	31.0% (70.0%)	48.0% (85.0%)		—	
指標項目	合計特殊出生率						
	基準値	R1	R2	R3	R4	R5	備考
目標値	H30	—	—	—	—	1.70	R1からR5の平均
実績値	1.75	2.27	1.68	1.62	12月末 データなし	—	単年目標値 1.70
達成度 (単年達成度)		133.5% (133.5%)	116.2% (98.8%)	109.2% (95.3%)		—	
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)							
※令和4年度評価の内容							
<p>【婚姻届出数】 数値目標 (KGI) は令和元年から令和5年の累計で婚姻届出数が100組になることを設定しており、20組 (100組/5年=20組) の婚姻届出数を超えると目標を達成しているといえます。令和元年 (H31.1~R元.12) の婚姻届出数は17組 (鳥取県合計: 2,389組)、令和2年 (R2.1~R2.12) の婚姻届出数は14組 (鳥取県合計: 2,098組)、令和3年 (R3.1~R3.12) の婚姻届出数は17組 (鳥取県合計: 1,977組) であり、2年目の達成率は85.0%と、「おおむね達成」と評価できます。 令和2・3年は、新型コロナウイルスの影響による出会いの場の喪失や結婚を先送りをしたことが要因として考えられます。しかし婚姻数の減少は、新型コロナウイルス感染症の収束後であっても自然に目標が達成されるとは考えにくく、施策の強化が必要です。</p> <p>【合計特殊出生率】 数値目標 (KGI) は令和元年から令和5年の平均で合計特殊出生率が1.70であることを設定しており、1.70以上であれば目標を達成しているといえます。令和元年 (H31.1~R元.12) の合計特殊出生率は2.27 (鳥取県合計: 1.63) 令和2年 (R2.1~R2.12) の合計特殊出生率は1.68 (鳥取県合計: 1.52)、令和3年 (R3.1~R3.12) の合計特殊出生率は1.62 (鳥取県合計: 1.51) であり、目標「達成」と評価することができます。 これは、20歳代や30歳代の若世代の転入者が多いことが要因の一つと考えられます。</p>							

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり	5 ジェンダー平等を 実現しよう		
施策 2-1	結婚支援			

1. 総合戦略基本事項



施策目標	結婚希望者の意向を実現し、未婚・晩婚化の解消をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	結婚支援事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	鳥取県が運営している結婚サポート団体である「えんトリー」の登録経費を助成し、結婚に結びつくよう応援をしています。						
評価指標 (KPI)	指標項目	えんトリー登録者数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	—	—	—	—	—	10人	R3からR7の累計
	実績値	—	5人	4人	1人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		50.0% (250.0%)	90% (200.0%)	—	—	—	単年目標値(2人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・えんトリー入会登録料全額助成 1件 ・えんトリーを広報誌、ホームページ、113ch、イオンモール日吉津で周知	
評価 (C)	成果 (12月時点)	・えんトリー登録者数は1名であったが、村の広報がきっかけとなった登録であり周知の成果があった。
	課題 (12月時点)	・近隣自治体と連携した広域的な婚活イベント及びサポートが必要。
委員会意見	・若者が恋愛に消極的なので、根本的な原因を把握し施策に盛り込む必要があると思います。	
意見への回答	・専門的なサポートはえんトリーが行いますが、日吉津村もえんトリーと連携し状況把握を行い結婚支援につなげていきます。	

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、えんトリーの周知を行い入会登録を促進して結婚をサポートします。 婚活ナビゲーター等、仲人による支援を検討していきます。 村のキャンプ場等を活用し、若者が集える出会いの場づくりを検討していきます。
-----------------	--

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり		
施策 2-2	日吉津版ネウボラの深化		

1. 総合戦略基本事項


施策目標	子どもの発達段階や個々の特性に応じた切れ目のない支援を行い、安心して子育てができる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	妊娠出産包括支援事業			【担当課】	福祉保健課		
	【事業概要】	子育て世代包括支援センター「すまいるはぐ」を設置し、出産から子育てまで切れ目のない支援を行います。						
評価指標 (KPI)	指標項目	出生数						
		基準値	R3	R4	R5 (12月末)	R6	R7	備考
	目標値	H31	—	—	—	—	40人	毎年
	実績値	42人	31人	30人	24人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		77.5% (77.5%)	75.0% (75.0%)		—	—	単年目標値 (40人)
評価指標 (KPI)	指標項目	保育所等待機児童数						
		基準値	R3	R4	R5 (12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	0人	毎年
	実績値	0人	0人	0人	0人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (0人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者支援事業 (母子保健型) : 母子保健コーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期までの継続的な情報提供・相談支援を実施 産前産後サポート事業 : 保健師による電話連絡や継続訪問による個別相談を行い、生後5か月頃には子育て支援センター体験を実施 産後ケア事業 : 保健師 (母子保健コーディネーター) が子どもの生まれた家庭を産後早期より訪問し、支援が必要な保護者へは訪問、電話相談等で継続的な支援を実施 デイケア、ショートステイの活用 	
評価 (C)	成果 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠期から継続して関わることで、支援が必要な家庭の早期発見と継続的な介入が可能となりました。 関係機関との情報共有、早期相談を行うことにより、必要な支援事業の利用に繋がりました。 デイケア、ショートステイの活用につながった。 子育て応援アプリ『母子モ』の導入。
	課題 (12月時点)	
委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが増えない根本的な理由を把握する必要があります。 支援が必要な人だけではなく、幅広く、ちょっと疲れた人が利用できるような制度になってほしいです。 男女隔たりなく、家事育児支援を進めたいと思います。 総合戦略に女性活躍の観点がないので、女性に活躍いただきながら、育児の支援も必要だと思います。 	
意見への回答	<ul style="list-style-type: none"> 様々な要因が複合的に関わっていると考えます。 妊娠期から全ての家庭に関わっています。デイケア・ショートステイ、一時預かり、ファミサポなどはレスパイト目的での利用が可能な制度となっており、対象と思われる方へ周知を進めてまいります。 家事育児支援については、世帯状況等に応じて進めております。また仕事と家庭の両立を念頭に置いて、引き続き育児支援に取り組んでいきます。 	

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> 乳児期から就学期までの期間を継続的に関わることができるミライトひえづの利点を生かし、連携を図りながら相談しやすい環境、体制づくりを継続します。
--------------	---

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり			
施策 2-3	教育の充実			

1. 総合戦略基本事項


施策目標	学校・地域が連携し、将来日吉津村に貢献する人材をともに育成します。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	コミュニティ・スクール事業				【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	地域の住民、保護者等と学校の相互理解を深め、信頼される学校を構築します。						
	【事業名】	GUTS日吉津っ子育成事業				【担当課】	教育委員会	
【事業概要】	学校・家庭・地域が連携をしながら、地域に根差した体験学習等を提供し、子どもの健全育成を図ります。							
【事業名】	地元人材育成奨学金支援事業				【担当課】	教育委員会		
【事業概要】	奨学金を受けている方が大学卒業後、日吉津村に戻り地元の企業に通勤する場合、奨学金の返還額を補助することで、人材の確保を図ります。							
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津小学校への入学者数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R2	—	—	—	—	36人	R3からR7の平均
	実績値	31人	36人	36人	45人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (36人)
評価指標 (KPI)	指標項目	カルチャー土曜塾参加者数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	140人	毎年
	実績値	135人	146人	207	200人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		104.3% (104.3%)	147.9% (147.9%)	—	—	—	単年目標値 (140人)
評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ・スクールの新たな取り組み提案数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	—	—	—	—	—	1回	毎年
	実績値	—	1回	1回	3学期末に 実施予定	—	—	
	達成度 (単年達成度)		100.0% (100.0%)	100.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (1回)
評価指標 (KPI)	指標項目	日吉津村地元人材育成奨学金支援事業利用者数						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	5件	R3からR7の累計
	実績値	1件	1件	1件	12月末 データなし	—	—	
	達成度 (単年達成度)		20.0% (100.0%)	40.0% (100.0%)	—	—	—	単年目標値 (1件)

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日吉津小学校運営協議会を設置し、小学校運営協議会を3回開催 ・第4回日吉津村熟議(テーマ「子どもの夢の実現のために」)を実施 ・カルチャー土曜塾で、5つの定期コースと2つの体験コースを実施 ・地元人材育成奨学金支援事業の申請見込者 1人 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー土曜塾をとおして、様々な体験が得られることへの児童及び保護者の期待は大きく、参加者が年々増加している。 ・4回目となる熟議では、地域から40名の参加があり、様々な意見を交流できた。貴重な意見を学校運営に反映させるとともに、地域と協働し、地域ぐるみで子どもたちを育む基盤づくりにいっそう取り組んでいきたい。
	<p>課題 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・カルチャー土曜塾に参加する児童数の増加に伴い、地域ボランティアの拡大が必要である。 ・学校運営協議会では、熟議の振り返りと地域ボランティアの拡大に向けた情報発信を計画どおり進めていきたい。
<p>委員会意見</p>		
<p>意見への回答</p>		

3. 継続・改善点等

<p>R6年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日吉津村は子育てをするのに良い村だというイメージを持って、転入して来られる方々があります。引き続き、きめ細やかな児童への指導及び支援体制の整備、体験活動の充実、コミュニティ・スクールを中心とした地域とともにある学校づくりに務めます。 ・青少年育成村民会議や、コミュニティスクール熟議の場などで、ボランティア参加の呼びかけを行ってまいります。
-------------------------	--

基本目標 2	結婚・出産・子育てしやすいむらづくり		
施策 2-4	ミライトひえづの活用		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	新しく建設される複合型子育て拠点施設においても、地域との交流等を積極的に行い、安心して子育てができる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	複合型子育て拠点施設整備事業				【担当課】	福祉保健課	
	【事業概要】	保育所・児童館・子育て支援センター・民俗資料館を複合化した子育て拠点施設を建設します。						
	【事業名】	子育て支援センター運営事業				【担当課】	福祉保健課	
【事業概要】	地域における子育て支援の拠点として、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談、援助等を行います。							
評価指標 (KPI)	指標項目	子育て支援センター利用者数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	2500組	毎年
	実績値	2209組	1201組	1030組	872組	—	—	
	達成度 (単年達成度)		48.0% (48.0%)	41.2% (41.2%)	—	—	—	単年目標値 2500組
評価指標 (KPI)	指標項目	ファミリーサポートセンター登録者数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	75人	R7時点
	実績値	67人	62人	66人	66人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		82.7% (82.7%)	88.0% (88.0%)	—	—	—	単年目標値 (75人)





2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・複合型子育て拠点施設の完成、令和4年9月5日から供用開始した。 ・子育て支援センターを開所：月～金（日・祝日、年末年始を除く）午前9時～午後4時 土 午前9時～午前12時	
評価 (C)	成果 (12月時点)	・7月に岸田総理の視察訪問があり、様々なメディア等により村内外に施設の魅力や子育て支援の実態を発信できた。 ・特に支援の必要なケースに対して、一時預かりやファミサポが連携して支援を行うことができた。 ・こども園の入園に向けて、支援センターと一時預かりの適切な連携が図れている。
	課題 (12月時点)	・村内の方限定利用となったことで、子育てサークルの活動も村外の方の参加が難しく、活動が縮小した。 ・ファミリーサポートセンターの利用希望に対して、支援会員数が少ないため、要望に応えきれない状況となっている。
委員会意見		
意見への回答		

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	・ミライトひえづに関する情報が広く村民に届くように、効果的な情報発信に努めます。 ・ファミリーサポートセンターの支援会員数を増やすために、ミライトに関わる地域の方々にアプローチを図ります。 ・こども園の入園児童の増加により、保育室を確保するため、令和6年10月供用開始を目途に増設工事を行います。
--------------	--

基本目標3	働き続けられるむらづくり	評価	R4おおむね達成				
目標	住民の生活を支えるとともに、若年層やIJUターンの就労を望む方が希望に沿った就労ができる村をめざします。						
◆数値目標 (KGI)							
指標項目	総人口に対する生産年齢人口						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	R2	—	—	—	—	57.4%	R7時点
実績値	57.0%	56.50%	56.48%	12月末 データなし	—	—	
達成度 (単年達成度)		98.4% (98.4%)	98.4% (98.4%)		—	—	単年目標値 (57.4%)
◆戦略の進捗分析／評価 (総括)							
※令和4年度評価の内容							
<p>【総人口に対する生産年齢人口】</p> <p>基本目標3に対する数値目標 (KGI) は、総人口に対する生産年齢人口を設定しており、国勢調査の結果を実績値として評価することとしておりますので、令和7年国勢調査の結果をもって達成度を判断します。</p> <p>令和2年の国勢調査における日吉津村の結果を鳥取県内で比較すると、生産年齢人口の割合は鳥取市、米子市に次ぐ県で3番目に高い値です。15歳未満人口の割合は14.6%と県下で一番高く、また、65歳以上の高齢者人口については28.4%と県下で一番低い値でした。</p> <p>参考に、令和4年12月末時点の住民基本台帳上の人口をみみると、総人口3,599人に対して、15～64歳人口が2,033人ですので、総人口に対する生産年齢人口は56.48% (2,033人/3,599人=56.48%) となり、「おおむね達成」と評価できません。</p> <p>過去5年間の本村の生産年齢人口の割合について住民基本台帳上の人口を参考にしますと、H29 57.8%、H30 57.4%、R元 57.4%、R2 57.0%、R3 56.5%、R4 56.48%であり減少傾向にあります。令和4年における15～64歳の社会増減をみると、転入者は146人、転出者は119人と、転出者を上回る転入者ではありますが、団塊の世代が高齢になった事による高齢化の影響が大きく、生産年齢人口の割合が微減する結果となりました。</p> <p>また、鳥取県内で比較したときの日吉津村の特徴として、25～34歳は転入者が多いことがあげられます。これは、移住定住施策に加えて、就業場所が豊富な米子市へのアクセスのしやすさ、日吉津村に在住しながら就労ができる生活の利便性の良さが関係していると考えられます。</p>							

基本目標3	働き続けられるむらづくり		
施策3-1	持続的な地域経済の実現		

1. 総合戦略基本事項

施策目標	地域経済を支える地元企業が地域の担い手となり、持続的に活躍することをめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	商工振興事業			【担当課】	総合政策課		
	【事業概要】	商工団体と連携し、中小事業所の経営安定、福利厚生の上昇及び地域経済の活性化等を図ります。						
	【事業名】	新型コロナウイルス対策金融支援事業（感染症対策事業）			【担当課】	総合政策課		
【事業概要】	新型コロナ対策融資に係る利子負担を軽減することにより、資金を借り入れた事業者の経営安定を図ります。（新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金）							
	アフターコロナを見据え、経営計画の策定を支援することにより、中小企業者の経営能力等の向上を図ります。（米子日吉津商工会経営診断計画策定業務補助金）							
【事業概要】	新型コロナ感染拡大に伴い、影響を受けている村内事業者に対し、鳥取県と協調し給付の支援を行い事業継続と雇用の維持を図ります。（コロナ禍克服支援給付金）							
	【事業名】	新型コロナ経済対策商品券事業			【担当課】	総務課		
【事業概要】	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い落ち込んだ消費を改善するために、商品券を発行して村内経済の活性化を図ります。							
評価指標 (KPI)	指標項目	地域経済循環率						
		基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
	目標値	H27		—	—	—	75.5%	R7時点
	実績値	75.0%	77.6%	12月末 データなし	—	—	—	
	達成度 (単年達成度)		102.8%		—	—	—	単年目標値

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業小口融資預託 3件 ・米子日吉津商工会運営補助 ・新型コロナウイルス感染症対応利子補給事業補助金 金融機関 6機関、事業者 37件（融資に係る利子負担の軽減） ・商品券取扱店舗登録数 107店舗（第5回：6/30～11/30） 106店舗（第6回：12/27～3/31） 商品券利用率 97.58%（11月末時点）※3/31まで第5回延長、第6回追加 							
評価 (C)	成果 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携を図りながら、利子補給等を行い、事業継続の支援を実施。 ・商品券は予算計上から発行まで素早くでき、消費者の利用も早いため、事業主へのスピード感のある支援につながっている。 						
	課題 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者不在等により廃業される事業者もあり、事業承継が課題と認識。 ・消費者が商品券を利用する店舗が限られており、中小企業に対する支援につながりにくい。 						
委員会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・事業承継、助成についてはできるできないがありますが、協議したらいいと思います。 							
意見への回答	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き商工会と連携し、村内事業者の経営安定や創業支援等、地域経済の活性化が図れるよう検討していきます。 							

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・商工団体と定期的に情報交換等を実施し、中小事業者のニーズ把握に努めます。 ・今年度の事業を継続し、来年度も県と協調した利子補給事業を継続予定。 							
-----------------	---	--	--	--	--	--	--	--

■地域経済循環率：生産（付加価値額）を分配（所得）で除した値であり、地域経済の自立度を示している。循環率が高いほど地域の稼ぐ力が強いといえる。

基本目標3	働き続けられるむらづくり	15 2020年10月 まで		
施策3-2	農業の活性化			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	農業者が安心して農業に従事できる村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	がんばる地域プラン事業			【担当課】	建設産業課		
	【事業概要】	「がんばる地域プラン」により、事業基盤の強化や農業生産性の向上、多様な担い手の確保を図ります。						
	【事業名】	小規模農家支援事業			【担当課】	建設産業課		
【事業概要】	小規模農家の営農意欲の維持・増進を図るとともに、村内の直売所への出荷を支援することで地産地消を促進します。							
評価指標 (KPI)	指標項目	農業の担い手数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	7人	R7時点
	実績値	5人	5人	5人	6人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		71.4% (0.0%)	71.4% (0.0%)	—	—	—	単年目標値 (0.4人)
評価指標 (KPI)	指標項目	アスパルへ出荷する農家数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	60戸	R7時点
	実績値	40戸	33戸	35戸	36戸	—	—	
	達成度 (単年達成度)		55.0% -(175.0%)	58.3% (50.0%)	—	—	—	単年目標値 (4戸)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) ・農業経営改善計画の新規認定 (広域認定) ・農作業お助け隊と作業を希望する者とのマッチング	
評価 (C)	成果 (12月時点)	・認定農業者 (広域認定) 1名増 ・農作業のマッチング 3件
	課題 (12月時点)	・チューリップは、農業経営として栽培する農家が減少し、委託栽培で維持しているのが現状です。
委員会意見	・チューリップをもう少し増やせたらいいと思います。	
意見への回答	・日吉津村のイメージとしてチューリップが定着しており、今後も維持して行きたいと思います。このため、自治会、コミュニティ組織、各家庭、事業所などの村民と連携して、花壇やプランター栽培の普及など、委託栽培以外の取組についても検討していきます。	

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・がんばる地域プラン事業については、各事業の効果・優先度を見極めながら年次的に推進する。 ・小規模農家支援事業については、現行のスキームに代わる仕組みを検討する。
-----------------	--

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり	評価	R4実績値なし
目標	地域の絆を深め、村内外に元気な村のイメージを広め、人口減少社会にあっても定住先に選ばれる村をめざします。		

◆数値目標 (KGI)

指標項目	日吉津村が住みやすいと感じる方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	50.0%	次回アンケート結果
実績値	45.4%	—	次期の村づくりアンケート		—	—	
達成度 (単年達成度)		—	—	—	—	—	

指標項目	日吉津村に住み続けたい方の割合						
	基準値	R3	R4	R5	R6	R7	備考
目標値	—	—	—	—	—	60.0%	次回アンケート結果
実績値	59.9%	—	次期の村づくりアンケート		—	—	
達成度 (単年達成度)		—	—	—	—	—	

◆戦略の進捗分析／評価 (総括)



※前回の村づくりアンケートの内容

【日吉津村が住みやすいと感じる方の割合・日吉津村に住み続けたい方の割合】
 基本目標 4 に対する数値目標 (KGI) は、日吉津村が住みやすいと感じる方の割合と日吉津村に住み続けたい方の割合を設定しています。この指標項目では、18歳以上の方を対象とした「むらづくりアンケート」の調査結果で評価をしております。次回のむらづくりアンケートは令和6年度の実施を計画しておりますので、その結果をもって評価を行います。
 令和2年に実施した調査では、特徴として30歳代が日吉津村を評価する傾向が強く、特に「人のあたたかみが感じられる村である」の項目では、「そう思う」と回答した方の割合が、全体の22.5%に対して、30歳代は51.7%と大きく上回っています。これは保育所や小学校での取り組みを通して子育て世代と地域の関係性が構築されているためと推測できます。

村づくりアンケート調査結果 (R2.1~2実施)

単位：%

	全体	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
日吉津村を「住みやすい村」だと感じますか	45.4	39.1	65.5	51.1	40.6	39.1	44.8
これからも日吉津村に住み続けたいと思いますか	59.9	43.5	65.5	57.4	50.0	59.4	69.0
活気にあふれた村である	14.1	13.0	27.6	25.5	9.4	6.3	11.5
きれいな村である	22.2	30.4	34.5	23.4	3.1	18.8	25.3
災害や事故が少なく安全な村である	30.3	34.8	41.4	25.5	21.9	21.9	37.9
緑豊かで自然に恵まれた村である	23.9	30.4	34.5	34.0	15.6	15.6	23.0
人のあたたかみが感じられる村である	22.5	21.7	51.7	25.5	12.5	12.5	23.0
生活しやすい村である	34.5	30.4	55.2	46.8	28.1	23.4	33.3
安心して子育てができる村である	34.5	26.1	48.3	42.6	37.5	21.9	36.8
村民として誇れる村である	32.4	26.1	44.8	44.7	25.0	23.4	33.3

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり		
施策 4-1	人がつながるコミュニティづくり		

1. 総合戦略基本事項


施策目標	地域コミュニティ活動の活性化を図り、協働と参画の村をめざします。								
事業内容 (P)	主な事業の概要								
	【事業名】	ヴィレステひえづ拠点事業					【担当課】	教育委員会	
	【事業概要】	生涯学習の場としてヴィレステひえづに村民が集い「元気な村づくり」を推進する人材を育成します。							
	【事業名】	コミュニティ活動支援事業					【担当課】	総合政策課	
【事業概要】	コミュニティ支援スタッフを配置するとともに、コミュニティ活動支援事業助成金を活用した自治会等の主体的な活動を支援しています。								
評価指標 (KPI)	指標項目	ヴィレステひえづ利用者数							
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考	
	目標値	R1	—	—	—	—	33,000人	R3からR7の平均	
	実績値	32,483人	35,610人	27,862人	25,606人	—	—		
	達成度 (単年達成度)		107.9% (107.9%)	96.2% (84.4%)	—	—	—	単年目標値 (33,000人)	
評価指標 (KPI)	指標項目	コミュニティ支援助成制度利用件数							
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考	
	目標値	—	—	—	—	—	25件	R3からR7の累計	
	実績値	4件	2件	4件	5件	—	—		
	達成度 (単年達成度)		8.0% (40.0%)	24% (80.0%)	—	—	—	単年目標値 (5件)	

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいフェスタ2023は、実施方法をコロナ禍以前に戻して開催 ・第5回日吉津村音楽祭開催 ・中学生サークルが、意欲的に活動できるよう支援を行った。 ・自治会等の実情に応じたコミュニティ支援スタッフによる活動支援、およびコミュニティ支援スタッフリーダー同士の意見交換を実施(1回) ・自治連合会にて、コミュニティ支援助成制度について周知を図った。 	
評価 (C)	成果 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいフェスタは、ステージイベントや飲食スペースも再開し、多くの来場者があった。音楽祭は、13組のグループが出演し、来場者がヴィレステホールに入れなほど盛況であった。中学生サークルは、SDGsアワードを受賞。9月に鬼の館で開催された鳥取県民カレッジにおいて中学生が実践発表を行った。 ・コミュニティ支援の助成件数は、単年度の目標値を達成。
	課題 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ支援の助成内容は、公民館等の修繕が多く、コミュニティの活性化や村づくりに直積的につながるものではなかった。
委員会意見		
意見への回答		

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	<p>ヴィレステひえづが、拠点となって、様々な社会教育活動を展開しています。引き続き、村民が集い、村の活動の中心となるよう、各事業を充実させていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ支援の助成は、コミュニティの活性化や村づくりに直接的につながる活動となるよう、支援制度の検討を進める。
--------------	---

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり		
施策 4-2	いきいきと暮らせる環境づくり		

1. 総合戦略基本事項


施策目標	医療・保健・福祉・介護が一体となった総合的な健康づくりを推進し健康寿命の延伸をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	健康寿命延伸事業			【担当課】	福祉保健課		
	【事業概要】	健康的な生活習慣を獲得するための健康教室やインセンティブ付与を行い、生活習慣病を予防します。						
評価指標 (KPI)	指標項目	『まちの保健室』参加者						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	85人	毎年
	実績値	70人	19人	25人	14人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		22.4% (22.4%)	29.4% (29.4%)	—	—	—	単年目標値 (85人)
評価指標 (KPI)	指標項目	前期高齢者の介護保険の認定を受けている人の割合						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1		—	—	—	5.0%	R7時点
	実績値	5.2%	4.7%	5.2%	5.0%	—	—	
	達成度 (単年達成度)		106.0% (106.0%)	96.0% (96.0%)	—	—	—	単年目標値 (5.0%)
評価指標 (KPI)	指標項目	健康ポイント交換者数						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	20人	毎年
	実績値	18人	96人	90人	84人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		480.0% (480.0%)	450.0% (450.0%)	—	—	—	単年目標値 (20人)

2. 結果・自己評価

施策結果 (D)	(活動実績) <ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室：高齢者学級との共催実施、併せてご当地体操の体験会実施 ・食習慣改善事業：食生活コントロールキャンペーン（8・2月）実施 ・健康ポイント事業：手帳を刷新し、住民が事業に取り組みやすいようポイント付与項目を追加 ・健口寿命延伸事業：特定健診時歯科保健指導、妊婦歯科検診費用助成を実施 ・特定健診・がん検診受診率向上事業：新40歳に健康ファイルを配布し、健康づくりに関する情報提供を行った ・フレイル対策：フレイル予防の普及啓発、フレイル評価システムを活用したフレイルチェックを実施 	
評価 (C)	成果 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイント達成者が昨年度より増加し、40歳未満の達成者も見られた。 ・乳幼児健診に参加した保護者にチラシを配布、フェスタにてポイント付与の機会を増設した。 ・訪問によるフレイルチェック、事後相談を行った。
	課題 (12月時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・働き世代のポイント付与者、達成者が少ない。
委員会意見		
意見への回答		

3. 継続・改善点等

R6年度について (A)	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代を対象とした健康づくりに関する教室やイベントを開催し、ポイントを付与する。 ・フレイル対策について、事業の整理等、検討を行う。
--------------	--

基本目標 4	魅力あふれるむらづくり			
施策 4-3	安心・安全なむらづくり			

1. 総合戦略基本事項

施策目標	安心・安全な暮らしが送れるよう、環境負荷をできる限り低減する循環型社会の構築と防災に強い村をめざします。							
事業内容 (P)	主な事業の概要							
	【事業名】	ごみの減量化事業			【担当課】	住民課		
	【事業概要】	電気式生ごみ処理機の助成等を行い家庭ごみの減量化を図るとともに、正しいごみの分別や環境保全についての周知を行います。						
	【事業名】	住宅用太陽光発電システム等導入支援事業			【担当課】	住民課		
【事業概要】	太陽光発電システムや蓄電池などの導入補助を行いCO2の削減と省エネルギー社会を実現します。							
【事業名】	災害対策事業			【担当課】	総務課			
【事業概要】	災害備蓄品や資器材を整備するとともに、防災訓練や防災士の育成を行い災害に備えます。							
評価指標 (KPI)	指標項目	一人当たりのごみの排出量						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	R1	—	—	—	—	570 g	R3からR7の平均
	実績値	574 g	575 g	572 g	568 g	—	—	
	達成度 (単年達成度)		— (99.1%)	— (99.6%)	—	—	—	単年目標値 (570 g)
評価指標 (KPI)	指標項目	防災士資格取得者の育成						
		基準値	R3	R4	R5(12月末)	R6	R7	備考
	目標値	—	—	—	—	—	30人	R7時点
	実績値	—	22人	26人	27人	—	—	
	達成度 (単年達成度)		73.3% (100.0%)	86.7% (200.0%)	—	—	—	単年目標値 (2人)

2. 結果・自己評価

<p>施策結果 (D)</p>	<p>(活動実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災無線等を活用したごみに関する啓発活動 ・不法投棄された廃棄物については、迅速に回収し、きれいな環境維持に努めた ・電気式生ごみ処理機等導入経費の一部を助成（電気式生ごみ処理機 4台、コンポスト 2台） ・太陽光発電システム等導入補助 6件 蓄電池5件 ・全職員対象の防災訓練を実施 ・防災士の養成 ・防災倉庫を避難所である農業者トレーニングセンターへ移設 ・職員、小学校へのミサイル発射を想定した訓練の実施 	
<p>評価 (C)</p>	<p>成果 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報ひえづに、毎月、ごみ収集に関する記事を掲載しています。 ・不法投棄ごみは、通報があった都度、速やかに回収しています。 ・電気式生ごみ処理機等助成、太陽光発電システム等補助の活用が進んでいます。 ・初めての試みとなる、風水害を想定した訓練を実施し、初動時の体制確認及び課題点の抽出、参加者と共有を図ることができた。 ・備蓄倉庫を避難所であるトレーニングセンターへ移設したことにより、備蓄物の整理及び災害時における円滑利用に繋がると考えている。
	<p>課題 (12月時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・村内の道路脇や側溝にごみの投棄の事例があり、不法投棄の形態が変化しています。 ・備蓄品の更新及び備蓄物の見直しが必要。 ・防災士の地域との連携の推進。
<p>委員会意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsに誰一人取り残さないという理念があるため、セーフティーネット(犯罪被害者支援)の考えも総合戦略に入れたらいいと思います。 ・ボランティア、ごみ拾いなど参加するとポイントが貯まるような「日吉津アプリ」を導入してはどうでしょうか。 ・ごみ拾いをスポーツ化するなど、楽しくできる仕組みづくりができればいいと思います。 	
<p>意見への回答</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者支援については、国や県の動向を見て検討します。 ・ごみ拾いアプリについては、他のポイント事業や活動と併せて検討します。 ・ごみ拾いのスポーツ化については、取り組みを検討します。（新たなイベントとして実施。既存のイベントに加える など。） 	

3. 継続・改善点等

<p>R6年度について (A)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・防災無線等を活用したごみに関する啓発活動 ・不法投棄された廃棄物の迅速な回収（きれいな環境維持） ・電気式生ごみ処理機等導入経費助成 ・太陽光発電システム等導入補助 ・引き続き、防災士の育成及び研修を実施します。 ・自治会（自主防災組織）と防災士の連携強化を図ります。 ・継続して、全職員対象の防災訓練を実施します。
-------------------------	---